

平成 26 年度避難指示解除準備区域等内国有林における環境放射線モニタリング調査事業 調査結果概要について

1 調査内容

- ・調査期間：平成 26 年 7 月～平成 27 年 1 月
- ・調査対象箇所
 - 空間線量率調査 1,252 箇所
 - 立木放射性物質濃度調査 16 箇所
 - 森林土壌放射性物質濃度調査 16 箇所

2 空間線量率調査

本業務において、観測した結果を以下の空間線量率のメッシュ図に示す。

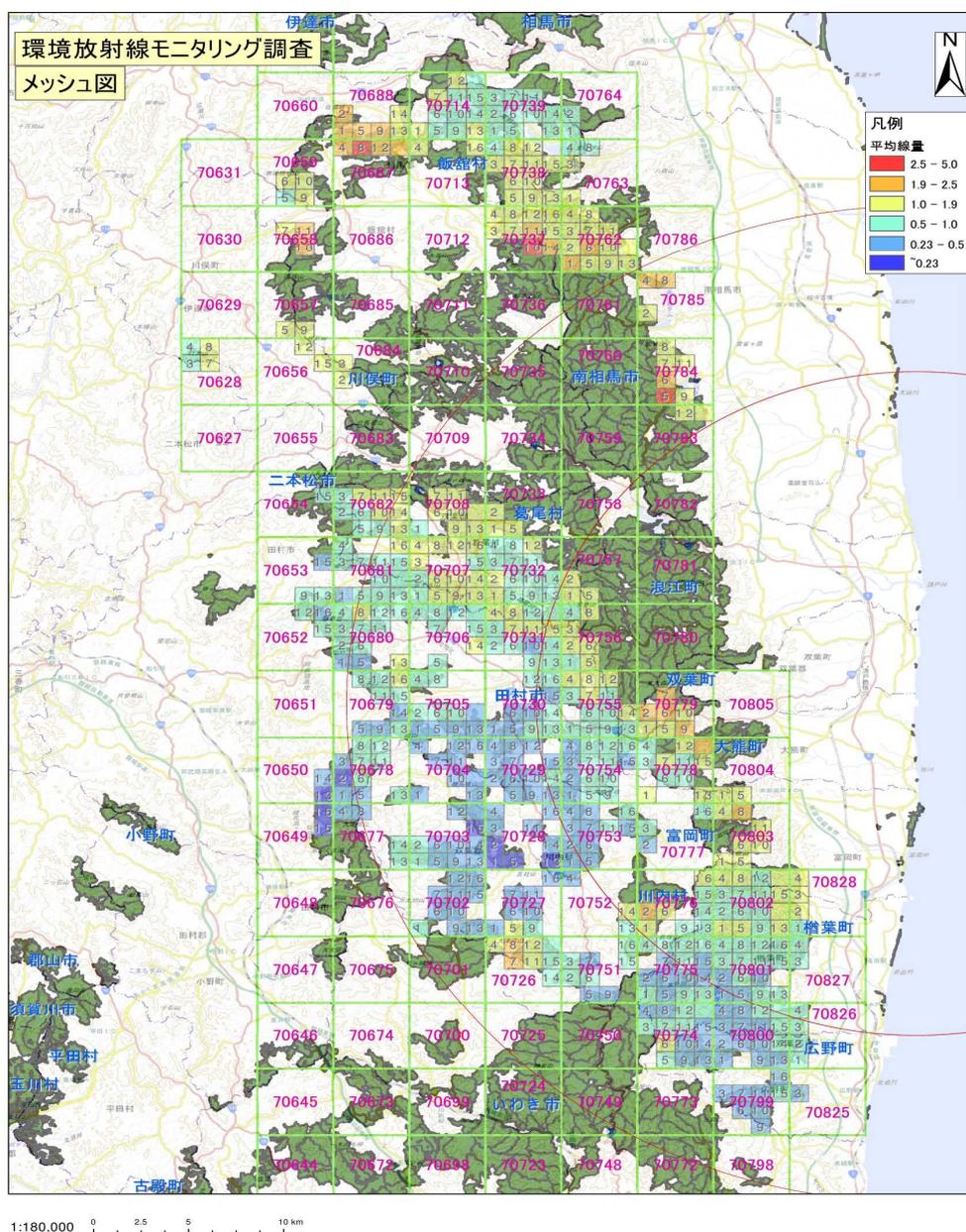


図 2.1 国有林内空間線量率調査結果

市町村別の空間線量率(平均値)は、最大 1.71 μ Sv/h、最小 0.47 μ Sv/h であった。1 μ Sv/h を超えた市町村は南相馬市、富岡町、大熊町、飯舘村、川俣町及び葛尾村で、1 μ Sv/h 以下は、楡葉町、田村市、川内村及び広野町であった。

市町村	箇所数	最大値(μ Sv/h)	最小値(μ Sv/h)	平均値(μ Sv/h)
飯舘村	147	3.27	0.49	1.27
田村市	326	1.85	0.14	0.67
川内村	200	2.98	0.17	0.55
葛尾村	148	2.19	0.55	1.09
川俣町	14	2.20	0.50	1.21
南相馬市	65	3.08	1.02	1.71
大熊町	53	2.71	0.47	1.39
富岡町	28	2.94	0.68	1.45
楡葉町	209	1.76	0.28	0.73
広野町	62	1.56	0.22	0.47

表 2.1 市町村別国有林内空間線量率測定結果

3 立木放射性物質濃度調査

立木の地上高 1.0m の樹皮と材部 (辺材・心材) の樹種別放射性セシウム濃度の平均値 (図中凡例：□)・最大値 (図中凡例：↑)・最小値 (図中凡例：↓) を以下に示す。樹種に関わらず、立木中では樹皮が高い値を示す結果となった。

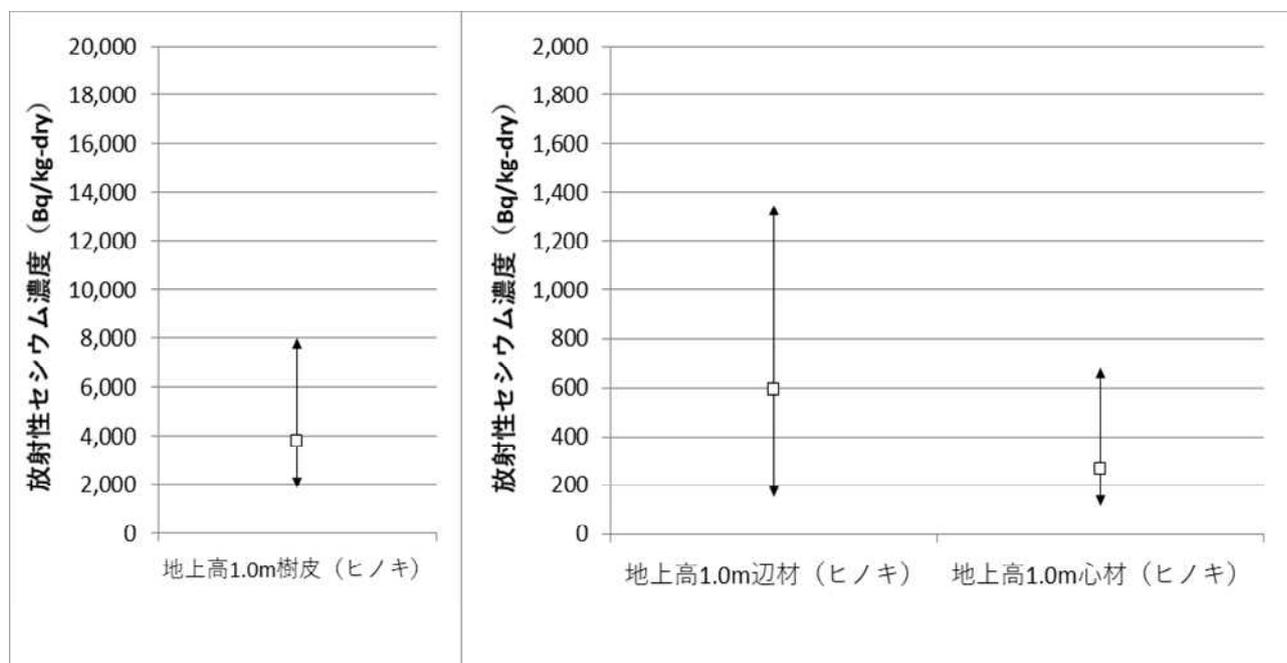


図 3.1 ヒノキにおける放射性セシウム濃度

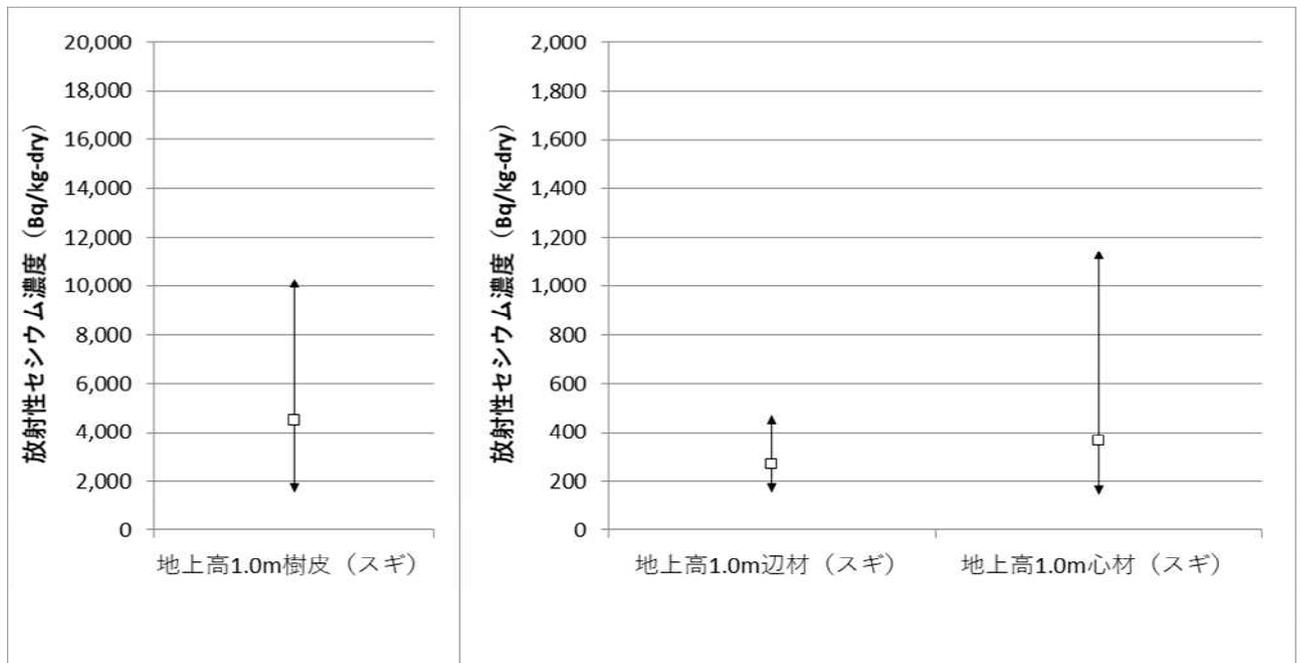


図 3.2 スギにおける放射性セシウム濃度

4 森林土壌放射性物質濃度調査

森林土壌における地表面の放射性セシウム蓄積量を測定した結果、地表面総蓄積量（堆積有機物層・GL*¹-0～150 mm）のうち90%以上が堆積有機物層～GL*¹-30 mmの間に存在することが確認できる。

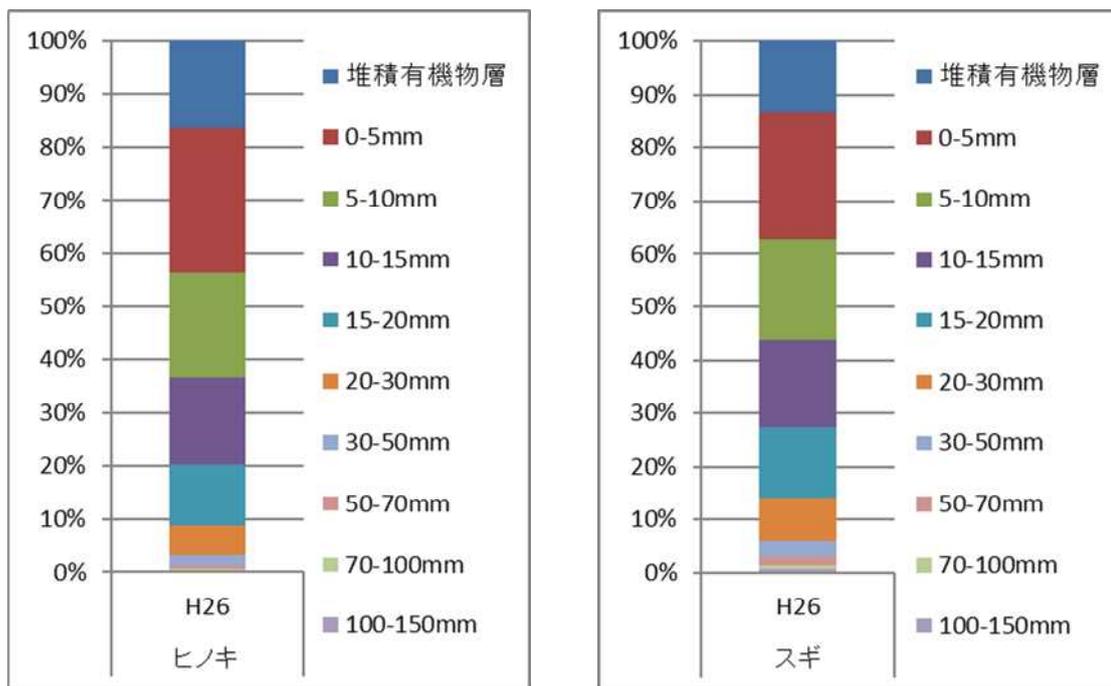


図 4.1 地表面の放射性セシウム蓄積量存在率

*¹ GL…地盤表面又は地盤面の高さを表すグランドラインの略称。